

コープふくしま大震災ニュース

【がんばっぺ編 10】

2011年4月2日発行

作成: 対策本部にて取材中の
日本生協連出版部・松田

はじめまして。日本生協連会員支援本部出版部の松田です。フリーライターの筑波とバトンタッチし、本日から取材に入りました。5日まで、【がんばっぺ編】を担当いたします。短い期間ですが、福島の奮闘を知っていただく一助になれば幸いです。

本日の話題は、原発30km圏内の南相馬市で開催された出張販売「負けないぞ!! 南相馬 市」。何しろ写真をいっぱい撮ってきましたし、少々夜も遅くなっていますので、写真ニュース風で失礼いたします。



福島市内での 出発式

野中専務からのご挨拶。
「南相馬市からの要請に応え
今回の「市」に協力することに
しました。
行政の力だけでは限界があり
ます。生協も住
民のくらしを支えるために役割を果たしましょう」



トラックに分乗して南相馬へ。原発事故の影響による立ち入り制限地域も通るルート。行きかう車もまばらなエリアを、各県の生協のトラックが連なって進みます。

会場は南相馬市の休業中の「道の駅」。
トラックをバックに記念撮影。





荷物の積み出し開始です。



和日配の売場作り中。
商品は、市中ではほとんど入手
できなくなっているという納豆、
コープふくしま自慢の豆腐など。

農産の商品は、にんじん、たまねぎ
じゃがいも、きゅうり、アスパラ、など。
山盛りで100円。ビックリのお買い得
価格です。



調理がままならない
状況に配慮し、カップ
麺、レトルトカレー、
汁の具など、簡便商品
をそろえました。
奥には調味料も。



手前は加工肉。
この後、豚バラの
冷凍肉も並べられ、
お肉に飢えていた
地元のみなさんに
好評でした。
奥は菓子です。



開店の一時間半前から、入口に行列が…。
開店15分前には、行列はエントランスホールを貫き、
建物の外にまで伸びていました。





午前11時、いよいよ開店です。
場内混雑による事故を避けるために、入場人数を小分けにしています。
ほしかった野菜に、カップ麺に、次々と手が伸びます。



大賑わいの売場。
レジは手計算のため、大忙しです。



壁にはスローガンの横断幕。



レジで時ならぬ抱擁シーンが…。レジ係りの組合員理事・渡邊洋子さんが見つめて抱きついたお客さんは、運営委員の方。「津波にさらわれた地区に住んでいて、連絡がなかったから、とても心配していた」のだそうです。



組合員の佐藤孝さん。
「野菜が買いたかったから助かった。
店を見て歩くのはたいへんだから…」



山ほど買い物をされ、組合員の川久保百合子さん。
「勤めに出ている娘の子供を預かっているので、
食材がこんなに買えてとてもありがたい。生協は
こんなにいいことしてくれて…。加入者がもっと
増えるといいわね」



レジを担ってくださった組合員のみなさん。
右から、理事の渡邊洋子さん、運営委員の村松洋子さん、村松さんの娘さんのゆかりさん。
お疲れさまでした。

この日の来店客数は640人。
供給金額は100万円でした。